

2016/05/02 (Mon.)

1. YBCO の合成(3) ～本焼き後～

計量

- 200℃で炉からるつぽを取り出して、「るつぽ＋試料＋ふた」「るつぽ＋試料」の質量を量る。
- るつぽのみ・ふたのみの質量も量り、質量変化を記録しておく。
- 値がばらつく場合は何回か計量し、平均をとるほうが良い。

ペレットの分離・保存

- ペレットの様子を観察し、ノートに記録しておく。必要に応じて写真なども取る。
- ペレット同士がくっついているので、カッター・ピンセットなどを用いて分離する。なるべく割らないように注意。紙の上やビニール袋の中で行い、なるべく試料をなくさないように。
- 可能であれば、ベッドのみの質量・試料のみの質量も量って記録しておく。
- 試料用のプラスチックケースにペレットを入れる。ベッドは分けてケースに入れる。
- YBCO は水分に若干弱いので、シリカゲル(除湿剤)と一緒に入れる。プラスチックケースには年度・前期/後期・グループ名を書いたラベルを貼っておく。プラスチックケースはパッキンつきランチボックスに入れておく。ランチボックスにも年度と前期/後期を記入しておく。

片づけ

- るつぽとふたは TA が洗う(濃硝酸→1300℃で空焼き)。

2. 液体窒素を使用する上での注意

液体窒素を使用する上での注意事項**(1) 低温 → 凍傷に注意： 皮手袋を着用する****特に注意すべき点：****目に直接液体窒素が入る → 目は遠く高く****冷えた金属に触る****液体窒素が衣服にしみこむ****(2) 液体 → 気化すると急激に膨張****液体窒素を密閉しない****酸欠に注意（要換気・液に顔を近づけすぎない）**

3. 超伝導性の確認

(1) プラスチックのトレイの中に銅のブロックを置き、液体窒素を注ぐ。

→ 銅の周りの液体窒素の沸騰の様子はどのように変化するか。

ア. 初めは激しく沸騰し、徐々におさまっていく。

イ. 初めは静かに沸騰し、一旦激しく沸騰してからおさまる。

ウ. 初めから最後まで沸騰の様子は変化しない。

(2) 銅のブロックが 77 K まで冷えたら、上に YBCO のペレットを乗せる。さらに上に強力磁石を乗せる。

→ どのくらい浮上するか？ 浮上した距離を計測する。

(3) 一旦 YBCO を取り出して超伝導を壊す。今度は上に磁石を置いてから銅のブロックの上に磁石ごと乗せる。

→ どのくらい浮上するか？ 浮上した距離を計測する。

(4) そのほか、磁石の N 極と S 極を交換してみる、回転させる、などいろいろやってみる。

(5) 使用した磁石の質量を測っておく。

4. 磁気浮上の原理

○マイスナー効果 = 超伝導体の内部の磁束密度がゼロになる性質

→ 磁石に対して常に_____する

○磁気浮上はマイスナー効果だけでは不十分

→ 浮上しても _____に浮き続けるには別の力が必要

○第II種超伝導体を下部臨界磁場 H_{c1} 以上、上部臨界磁場 H_{c2} 以下の磁場中に置くと

磁束は_____化して侵入する (= 混合状態)

→ その大きさ $\phi_0 = ______ = ______ \text{Wb}$

【原理】

超伝導: 試料全体にわたって全電子が一つの波動関数に従う状態

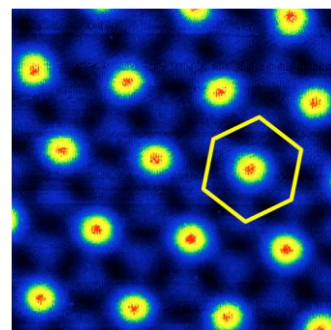
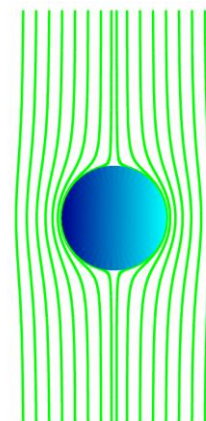
※波動関数 → _____と_____の自由度を持つ複素関数

波動関数の_____性

→ 任意の閉経路での位相変化 $\oint \varphi$ の積分値は_____の_____に限られる

波動関数の位相部分と電流およびベクトルポテンシャルの関係:

上の式を $J = 0$ となる適当な閉経路で一周積分すると、

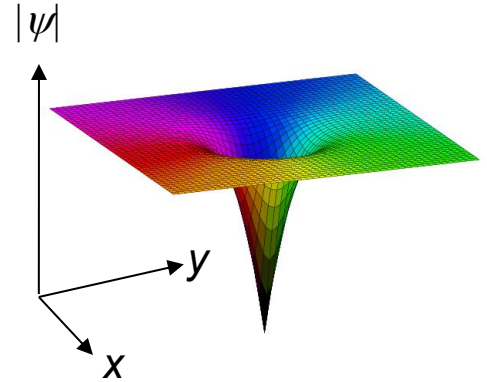


○第2種超伝導体に侵入した磁束量子の特徴

- ① 中心では_____は定義できず、_____はゼロ。
- ② _____で特徴づけられる→ _____
(例えば、_____ したり _____ したりしない。)

※右図は磁束断面周りの超伝導波動関数の

振幅 $|\psi|$ (縦軸)と位相(色)を表したもの。

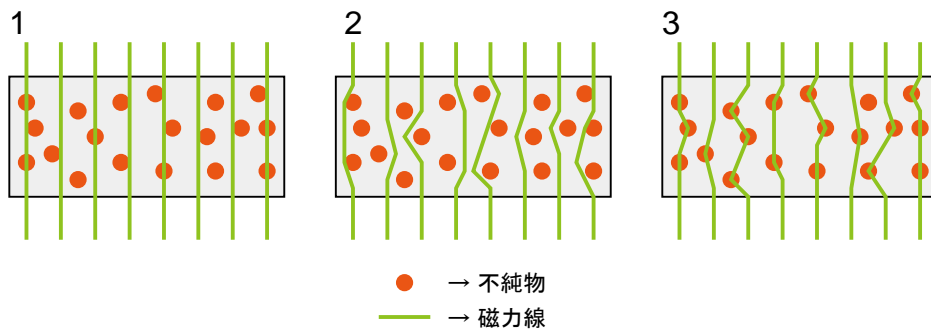


※ 混合状態に関して、「超伝導と常伝導が共存している」ということには語弊があることに注意

c.f. 第一種超伝導体の中間状態

○磁束の侵入パターンのクイズ

不純物など超伝導になりにくい部分がある場合、磁束はどのように侵入するか？



● → 不純物
— → 磁力線

○磁気浮上の原理

量子化して超伝導体内に侵入した磁束が不純物などに_____される

→ 磁束が移動する際に_____が必要になるため、磁場分布変化を_____力が働く

本日のまとめ：

磁気浮上は、マイスナー効果・磁束量子化・ピン止め効果など、超伝導の重要な性質が織りなす現象

○おまけ

1. ピン止めの超強力な例を見てみましょう。
2. 超伝導体の上で磁石を回したりできたと思います。また、レールの上を超伝導体が行っていくデモ実験があります(「Magnetic levitation train」などで検索)。これらは上記の原理で説明できるでしょうか。
3. マイスナー効果だけで浮上させる例も見てみましょう。